

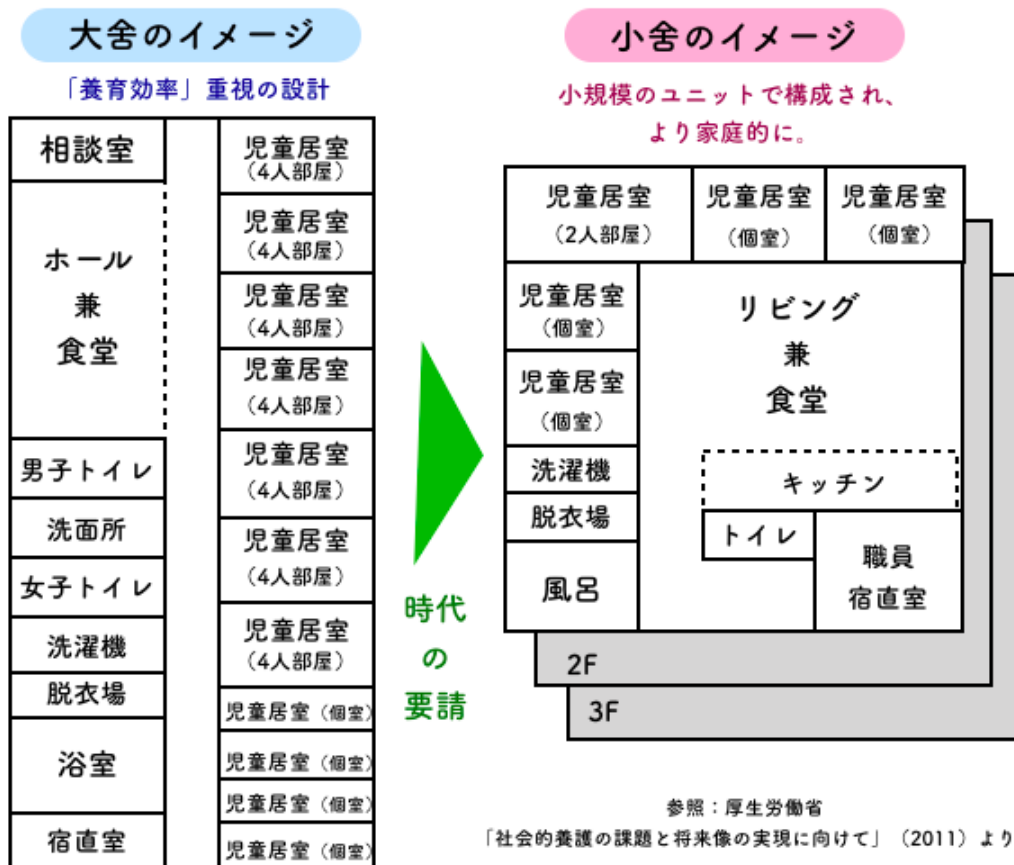
# 水没するグラウンド・老朽化した家～岡崎平和学園 引越し大作戦～

○ 開園から65年。なんとか耐えてきたこの場所を、いよいよ去らなければいけなくなりました。

今の施設は、もともと戦争の孤児を受け入れるため1953年にできました。その後、児童養護施設として形を変え、この65年間で1000人近くの子どもたちを送り出してきました。

建物は、増改築を繰り返してきましたが、時代の変化とともに児童養護施設のあり方も変化してきました。

戦後からまもなく、児童養護施設は大人数の子どもたちをできる限り受け入れる大舎制（1舎につき20人以上の児童が生活する）が主流でした。子どもたちの入所理由も、親の死亡や離婚が一番多く「孤児院」という名前で知られることが多かったのです。



しかし、近年では入所する子どもたちの理由も様々で複雑になってきました。入所理由で一番多いのが「虐待」です。岡崎平和学園も多くの子どもたちが虐待を経験をしており、より一人ひとりの心のケアと環境のケアが大切になっています。

そのため施設は、子どもたちのニーズにあった、「できるかぎり良好な『家庭環境』で子どもたちを受け入れることが必要」とされています。

今の施設は、現在の児童養護施設に求められる設備と異なり、子どもたちにとってベストな環境ではない部分も多々あります。

建物の老朽化や耐震化の問題もあり、2020年までに「できるかぎり良好な『家庭環境』の施設へ、現在の場所から移転し、全面的に建て直すことになりました。

## ○ 子どもたちが大好きなグラウンドが1.5m浸水することも...

朝起きて「おはよう」、学校へ行く時に「行ってらっしゃい」、学校から帰ってきて「おかえりなさい」寝る前に「おやすみなさい」。そんなあたり前の日常の中に、いつも施設職員がいます。

子どもと施設職員は、日常生活を共に過ごしていく中で、徐々に信頼関係を築いていきます。人と信頼関係を築けるようになることは、これから生きていく基盤となります。

引越し先の施設では、そんな心の安全にプラスして、より環境の安全もプラスできればと思います。

子どもたちは、外遊びが大好きです。雨が降っていなければ、暑い日でも寒い日でもグラウンドで遊んでいます。

しかし今の施設は川沿いに立地しているため、大型台風や集中豪雨の時に、川が氾濫し、過去最大で1.5m程、浸水したこともありました。

建物はグラウンドより高台に建っているので浸水することはありませんでしたが、子どもたちが毎日利用するグラウンドや建物は、より安全な場所への移転が必要です。



## ○ 一世一代の引越だからこそ、こだわりぬいて。「自分だけの大切な場所」と「仲間と助けあう場所」がある施設へ！

莫大な費用と時間がかかる大引越。そうそうできることではありません。だからこそ、引越し先の施設では、こだわりをつめこんで。

より子どもたちが暮らしやすい環境にするため、自分の部屋と仲間が集うリビングを確保した「自分だけの大切な場所」と「仲間と助けあう場所」をつくります。

また、生い立ちゆえに不安になってしまうことも多い子どもたちにとって、少しでも落ち着ける「家」になるよう、木のぬくもりを感じることができる生活環境を整えます。





子どもたち同士の大切な交流場所である、大好きなグラウンドは園舎の真ん中に。グラウンドは、ストレスを感じてしまった時に思いっきり発散できる場所でもあります。

そして、今回新たに災害時の一時避難場所にもなる”地域交流棟”を設置します。子どもたちは、多くのボランティアの方や地域の方に支えられ育てられてきました。

そんなこれまで支えてくださった地域の方々と交流できる場もしっかりと作ります。



木のぬくもり溢れる建物も、建設中です！

## ○ ここは「虐待」の先にある、子どもたちが夢を育む「はじまり」の場所

ここにいる子どもたちの中で「虐待」は他人事ではありません。児童養護施設に入ったから安心ではなく、その後の進学や就職、さまざまな道に進む際に多くの困難があります。

私たちの仕事は、その「困難を子どもと共に乗り越え希望を育てる」こと、そして「負の連鎖を断ち切る」ことです。

昨今、子どもたちへの虐待に関するニュースをよく目にします。ニュースの中では、「児童相談所が」「学校が」「保護者が」...と議論が繰り返されています。それを見ていて、一番の被害者である子どもたちのことが、置き去りにされている気がして、どこか違和感があります。

虐待は、子どもたちにとってはニュースになったら終わりではありません。そこから、これから、どう生きていくのかの「はじまり」なのです。

昨年度、岡崎平和学園では、高校生4人を無事に社会に送り出すことができました。自動車関連会社、税理士法人、介護職、大学進学、困難を乗り越えて夢を叶えてくれました。

ここ岡崎平和学園は、そんな子どもたちの「はじまり」を応援する場所です。そんな場所を続けていくためにも、子どもたちが安心安全に過ごせるように、この引越にお力をお貸しください。

## ○ 移転までのスケジュールと支援金の使い道

### <移転までのスケジュール>

|           |        |
|-----------|--------|
| 2018年12月  | 建築工事着工 |
| 2020年 3月  | 建築工事完成 |
| 2020年 3月～ | 引越     |
| 2020年 4月  | 開園     |

### <資金の使い道>

今回、皆様からいただいた費用は、引っ越し費用の中の、補助がおりない子どもたちの荷物などを運搬設置する費用500万円に使用させていただきます。

### <引越し費用>

|             |           |
|-------------|-----------|
| ・運搬設置費      | 500万円程度   |
| ・生活用品       | 1,000万円程度 |
| ・グラウンド、外構整備 | 3,000万円程度 |
| ・施設整備       | 2,500万円程度 |
| ・原状回復費      | 数千万円      |